

平成29年度 学力向上に向けた検証改善シート

中学校

尾道市立

重井中学校

1 課題

- ・多様な情報の読み取りと、その活用の仕方に課題が大きい。
- ・目的と相手意識を明確にした、表現活動ができていない。
- ・基礎的な学習の定着と、特に英語科の「書くこと」の課題が大きい。



2 めざす姿

- ・多様な情報の中から自分に有用な情報を取りだし、それを活用して自分の考えを表現できる生徒。
- ・目的と相手意識を明確にして、根拠をもとに自分の考えを主張できる生徒。
- ・基礎的な知識をもとに、「書くこと」を通して自分の思いや考えを相手に伝えることができる生徒。

3 めざす姿に向けた取組の具体

1学期の取組

- 春休みテストの実施
前年度の学習の定着を図るため、春休み期間中の課題を与え、次の学年で春休み明けテストを実施する。
- 「思考力・判断力」の定着を、定期試験の達成度から判断する取組を行う。

検証

- 「全国学力・学習状況調査結果」「基礎・基本定着状況調査結果」の分析
・正答率の低い問題の分析を十分に行うことを通して、その問題の定着率を上げるために、2学期以降の授業改善につなげる。
・指導後の検証として、再度 同程度の課題によって改善状況を判断する。



2学期の取組

- ・課題克服のための各教科の授業改善
- ・課題のあった問題や「思考力・表現力」の定着を判断するための定期試験の問題を作成し、実施する。
- ・特に3年生においては、公立選抜(Ⅱ)の問題に対応できる学力の定着を図る。

検証

- 全国学力・学習状況調査の検証
定期テストでの正答率を見る。
正答率の70%を目標値にする。
- 「基礎・基本」定着状況調査の検証
定期テストでの正答率を見る。
正答率の80%を目標値にする。



3学期の取組

- 3年生
高校入試に対応できる学力を身に付けさせる。
- 2年:全国学力・学習状況調査に向けて
・過去問題を計画的に実施して定着を図る。
- ・課題のある問題(過去問題)を学年末に春休み課題にする。
- 1年「基礎・基本」定着状況調査に向けて
・過去問題を計画的に実施して定着を図る。
- ・課題のある問題(過去問題)を学年末に春休み課題にする。

検証

- 全国学力・学習状況調査の検証
新学期で対策テスト(休み明け)を行う。(4月)
- 「基礎・基本」定着状況調査
新学期から対策問題を定期的に宿題にする。
対策テストを行う。(5月)
正答率の80%を目標値にする。

4 取組の結果

1年生 市学力調査(4月)

教科	国語(基礎)	国語(活用)	数学(基礎)	数学(活用)	理科(基礎)	理科(活用)	社会(基礎)	社会(活用)
結果 (対市比%)	72.8 (94.4%)	71.4 (97.2%)	71.7 (100.2%)	63.2 (104.5%)	59.3 (98.8%)	59.6 (98.3%)		



H29「基礎・基本」目標値

(対県比%)
%

2年生 「基礎・基本」定着状況調査(6月)

教科	国語Ⅰ	国語Ⅱ	数学Ⅰ	数学Ⅱ	理科Ⅰ	理科Ⅱ	英語Ⅰ	英語Ⅱ
目標値 (対県比%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
結果 (対県比%)	69.6 (98.8%)	64.0 (100.0%)	69.9 (100.3%)	56.8 (98.9%)	51.3 (94.1%)	45.0 (99.3%)	66.2 (91.4%)	55.0 (91.8%)



2年生 検証(12~1)月

教科	国語Ⅰ	国語Ⅱ	数学Ⅰ	数学Ⅱ	理科Ⅰ	理科Ⅱ	英語Ⅰ	英語Ⅱ
目標値 (対県比%)	(100%)	(105%)	(105%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
取組の結果 (対県比%)								



H29 全国学力目標値

(対県比%)
%

3年生 全国学力・学習状況調査(4月)

教科	国語A	国語B	数学A	数学B
目標値 (対県比%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
結果 (対県比%)	82.0 (105.1%)	79.0 (108.2%)	66.0 (103.1%)	49.0 (102.0%)



3年生 検証(12)月

教科	国語A	国語B	数学A	数学B
目標値 (対県比%)	(110%)	(105%)	(105%)	(105%)
取組の結果 (対県比%)				

市学力調査

基礎・基本

全国学力